

BACH-CHOR, TOKYO



Das 111. Reguralkonzert

Aufführung in japanischer Sprache

— Unser Weihnachtsgruß an das Katastrophengebiet vom 11. März —



バッハのクリスマス音楽の花束

<日本語演奏>

《マニフィカト》4つの挿入曲

Magnificat BWV 243a/Einlagesätze A-D

カンタータ第97番《わがすべてのわざ 主に導かる》

In allen meinen Taten BWV 97

カンタータ第62番《いざ来たりませ 世の救い主》

Nun komm, der Heiden Heiland BWV 62

カンタータ第36番《喜びのぼれ いと高き星に》

Schwingt freudig euch empor BWV 36

12/13(土)

19:00 開演

19 Uhr

Samstag, 13. Dezember 2014

府中の森芸術劇場

ウィーンホール

(京王線「東府中」駅北口下車8分、裏面に案内)

VIENNA HALL,

FUCHU-NO-MORI THEATER

ソプラノ・光野孝子 Mitsuno Takako, Sopran
アルト・佐々木まり子 Sasaki Mariko, Alt
テノール・鳥海 寮 Toriumi Tsukasa, Tenor
バス・山本悠尋 Yamamoto Yukihiro, Baß

オルガン・草間美也子
KUSAMA Miyako, Orgel

合唱・東京バッハ合唱団 BACH-CHOR, TOKYO
オーケストラ・東京カンタータ室内管弦楽団
TOKYO CANTATA CHAMBER ORCHESTRA

指揮/訳詞・大村恵美子
OHMURA Emiko, Leitung/Übersetzung

【入場料(全席自由席)】前売り 3500 円、当日 4000 円 Eintrittspreis: ¥3500 Vorverkauf, ¥4000 Tageskarte

【チケット取扱い】●東京バッハ合唱団事務局(下記) ●e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

【予約申込み/お問合せ】合唱団事務局 Information: [Tel] 03-3290-5731 [Fax] 03-3290-5732(裏面に申込みフォーム)

[E-mail] office@bachchor-tokyo.jp [Web site] <http://bachchor-tokyo.jp/>

【主催】東京バッハ合唱団
BACH-CHOR, TOKYO

【後援】ドイツ連邦共和国大使館
Botschaft der Bundesrepublik Deutschland Tokyo



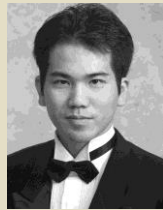


光野孝子 (ソプラノ) みつひこ・たかこ

島根大学教育学部特別音楽課程卒業。オペラでの活躍に加え、宗教曲においてもバッハを中心に多くの作品でソリストを務めている。2006年ライプツィヒ・バッハフェスティヴァルに、樋口隆一指揮・明治学院バッハアカデミー合唱団のソリストとして出演、好評を博す。当合唱団の音楽指導のほか、合唱指揮の分野でも活躍中。二期会会員。

佐々木まり子 (アルト) ささき・まりこ

東京芸術大学大学院修士課程独唱科修了。デットモルト北西ドイツ音楽大学留学。帰国後、国内各地にてバッハ作品を中心に演奏活動を行っている。1993年ヴィンジャーマン指揮ドイツ・バッハゾリステン「マタイ受難曲」ではソリストとして国内各地同行。現在岩手大学、東北大学各合唱団の発声指導のほか、合唱団指揮者としても活躍中。



烏海 寮 (テノール) とりうみ・つかさ

東京学芸大学芸術課程声楽専攻卒業、同大学院修士課程修了。大学院在学中よりオトリオ、カンタータ等のソリストとして多くの合唱団、オーケストラと共演。特にバッハ作品が多く、柔らかい声と表現力は着実に深みを増している。合唱指揮者、ヴォイストレーナーとしても活躍。現在サレジオ小学校音楽科教諭。日本声楽発声学会会員。

山本悠尋 (バリトン) やまもと・ゆきひろ

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院独唱科修了。アカンサス音楽賞、同声会賞、大学院アカンサス音楽賞、武藤舞賞を受賞。モーツァルト「レクイエム」、バッハ「ヨハネ受難曲」のほか、「第九」、「メサイア」等でソリストを務める。1987年生まれの期待の新人、東京バッハ合唱団初出演。12月の本番をお楽しみに…!



1962年創立 東京バッハ合唱団 創立52周年

東京バッハ合唱団

教会カンタータを中心にバッハの作品のみを演奏し、研究する団体として1962年大村恵美子の呼びかけで組織された。都内での定期演奏会や各地の教会等での200回を超える公演を、1975年までは主に小林道夫氏、その後は大村恵美子の指揮で行っている。国内では日本語上演を原則とする。ライプツィヒ聖トーマス教会(1983年、日本の合唱団初)などドイツを中心に海外巡演も5回を数える。



東京カンタータ室内管弦楽団

東京バッハ合唱団のカンタータ連続演奏企画に共鳴して、1979年、大村恵美子の常任指揮者就任と同時に結成、以来30年を超える協演をつづけている第一線の演奏家グループ。声楽パートとともに練習を重ね、カンタータ本来のあり方に沿った奏法を特色としている。一流オーケストラ、アンサンブル等の主要メンバーからなり、全員がバッハ演奏のエキスパートである。

大村恵美子(主宰/指揮/訳詞)

東京芸術大学楽理科・作曲科卒業後、フランス・ストラスブール大学と音楽院に留学。在学中よりバッハのカンタータ演奏を志し、1962年帰国とともに合唱団設立、2012年に50周年を迎えた。すでにバッハ宗教合唱作品のほぼ全曲の上演用訳詞を完成、順次刊行中。多くは自らの指揮で上演している。著書・訳書多数。現在「バッハ・カンタータ日本語版楽譜全集」刊行中(既刊64曲)。



バッハ演奏、なぜ日本語か?

◆東京バッハ合唱団は、創設いらい半世紀にわたり、わが国におけるバッハ演奏のパイオニアとして、教会カンタータを中心に多様なジャンルのバッハ合唱曲を紹介しつづけていますが、国内の公演においては、われわれの母語である“日本語”による上演を原則としてきました。

◆なぜ日本語か? それは私たちが日本語で考え、思い、感じているからです。言語の壁は、心のもっとも奥深いところでなされる芸術的共感をばんでいますが、訳詞演奏は、精神そのものである母語によってその壁を超えてみようとする一つの試みにほかなりません。

◆バッハ音楽の精神的背景には、母語をとおして神と直接向き合おうとするルターの思想が色濃く反映されています。またバッハにいたって、西洋音楽は個々のテキストの意味を形象化し、あるいはテキストの背後の理念や情感に音の形を与えることにより、ラテン語やドイツ語といった特定の言語の制約を超越するに至りました。

◆ですからバッハ音楽の中にあっては、どの言語圏の人々も安心して自分たちの母語に身をゆだねることができるのです。東京バッハ合唱団の日本語による演奏が、バッハ音楽の普遍性の証しとなることを確信しています。

次回公演は福島県南相馬にて。参加団員募集

第112回定期演奏会・2015年8月末/9月初(近日決定)・南相馬市民文化会館
・カンタータ第92番《わが心 思い 神に委ねたり》BWV 92
・カンタータ第81番《主イエス眠り いかによすべきわが望み》BWV 81
・モテット第3番《イエス 喜び》BWV 227, 他(現地合唱団の演奏も)
3.11の被災地を訪ねての上演と交歓(1泊)。資格や経験は問いません。この機会に日本語によるバッハ演奏を体験してみませんか。
[練習日と会場] 毎週(土曜日) 15:30 - 17:30 荻窪教会、(月曜日) 18:30 - 20:30 目白聖公会、どちらにも参加自由。

[お問合せ/資料請求] 東京バッハ合唱団事務局: 電話 03-3290-5731, メール office@bachchor-tokyo.jp, HPにて詳細 http://bachchor-tokyo.jp/

[曲目ご案内] 第111回定期演奏会(当公演)

「バッハのクリスマス音楽の花束」

- ・《マニフィカト》4つの挿入曲
聖歌「高きみ空より」など、《マニフィカト》初稿に挿入された可憐な4曲の小品は、いずれも耳になじんだクリスマスの旋律。静かな開幕です。
- ・カンタータ第97番《わがすべてのわざ 主に導かる》
マタイ、ヨハネの両受難曲にも登場する有名なコーラル旋律に乗せて、しかも華やかな祝宴に相応しく快活明朗。全詩節コーラル詞による。
- ・カンタータ第62番《いざ来たりませ 世の救い主》
後半ステージ2曲は、曲名と同じルターの待降節コーラルを土台にすえて展開されます。次々に声部を重ね、御子降誕の期待がふくらむ冒頭。
- ・カンタータ第36番《喜びのぼれいと高き星に》
原曲(侯妃または同僚の誕生日を祝った世俗カンタータ)の軽快な要素とルター・コーラルのコラボレーションの上に、有名なニコライの「輝く暁の明星のいと美しくしかな」(コーラルの女王)まで登場します。

[会場ご案内]

府中の森芸術劇場 ウィーンホール

〒183-0001 府中市浅間町1-2
Tel.042-335-6211

<京王線>

東府中駅(新宿駅から約25分、京王八王子駅から約20分)北口 徒歩7分

<JR中央線>

武蔵小金井駅 南口よりバス
⑤番乗り場より約20分、徒歩約7分
①番乗り場より約20分、徒歩約10分など



[チケット申込み] 03-3290-5732 (Fax 専用)

第111回定期演奏会「バッハのクリスマス音楽の花束」(2014/12/13、府中の森芸術劇場)のチケットを申し込みます。

前売り券: 3500円(全席自由席)

枚数:	お名前:	Tel/Fax または Mail: (必ずご記入ください)
-----	------	-------------------------------

お送り先ご住所:(〒)

▲お支払い方法: チケットに郵便振替用紙を同封いたしますので、折り返し、枚数分をご近所の郵便局にてお振込みいただけます。